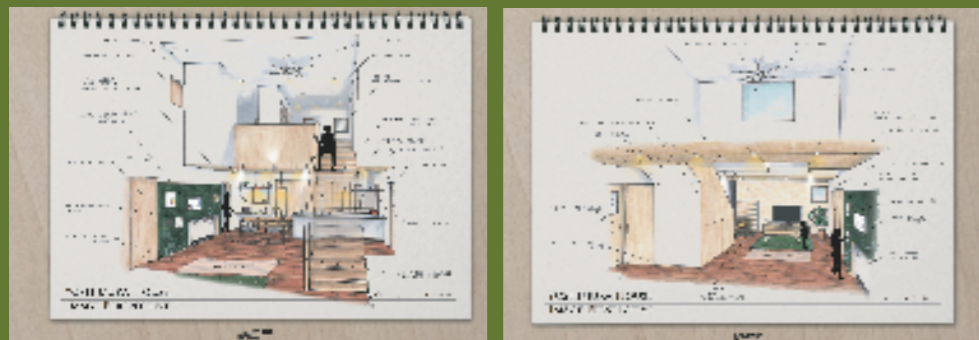


家具から始まる家づくり

建築設計事務所+インテリアショップ=zuiun



新築住宅内覧会 VOL.26

11/ 2(sat) 3(sun) 4(mon)
10:00~18:00
金沢市直江町地内

zuiun
http://www.zuiun.jp

当日は予約制となります。
お問い合わせ下さった方にMAPをお知らせします。

家具から始まる家づくり

建築設計事務所+インテリアショップ=zuiun



新築住宅内覧会 VOL.27

11/ 16(sat) 17(sun)
10:00~18:00
小松市木場町地内

zuiun
http://www.zuiun.jp



案内看板を目印にお越しください。

— 家具から始まる家づくり その2 —

ZUIUN便り vol.27

「家具から始まる家づくり」は、私たちの家づくりのコンセプトです。以前にもこのテーマを取り上げたZUIUN便りを書きましたが、今回は更に掘り下げて、家づくりと家具選定が関係にある事について書きたいと思います。

そもそも、家具が欲しくて家を建たいと思う人は稀だと思います。ほとんどの人はその反対で、家が欲しくて家具を新調する場合があります。つまり、「家具から始まる家づくり」とは、理想的ではあるものの、現実的にはとても難しい事なのです。私たちはインテリアショップを営む設計事務所であるにも関わらず、本当の意味でこれを実行できた例は少ないのかもしれない。理想的なテーマをコンセプトにしながらも、現実的には難しいコンセプトに必死に挑戦していると言った表現があてはまるのかもしれない。

「家具から始まる家づくり」・・・を指す。

本来、インテリアの中心となる家具を、建築デザインの構成から外して家づくりを進める事は不自然だと思いますし、家具のデザインが建築のデザインを決定させる要因になってもいいはずですが、個人的な家具が好みの人であれば、建築にもその個性を引き出せる工夫が必要ははずです。

20世紀の初頭に活躍した近代建築の三大巨匠と言われる、ル・コルビジエやライトやミースも、自身の設計した建築には、必ず自分のデザインした家具や照明器具を備えていました。

まだ「デザイン」という言葉すら聞きなれない時代の彼らの建築は、これまでの様式美を進化させた建築と異なり、機能美を追求した建築でした。当時の人には、とても前衛的に映ったに違いありません。

まさにその設計手法は、人と物との関係をいかにシンプルにするかという事であり、近代建築の概念を構築したと言えます。それが「デザイン」という言葉が誕生した流れです。

ル・コルビジエは「住宅は住むための機械である」という言葉を遺しました。その事からも分かるように、人が使う機械（道具）としての機能的な空間や動線の中に、快適で豊かな生活が求められる住まいがあり、その空間の中には、機能的な住宅デザインのコンセプトに沿った「唯一無二」の家具や照明器具が備えられていた訳です。

機能美と向き合うなかで、家具や照明までデザインすることは、必要不可欠だったのだと思います。名作家具の作家のほとんどは、名建築家である事もうなずけます。

家も家具も同じ道具と思えば、家を設計する時に、家具の選定も同列で考えなければならぬと思いますし、スケール感の違いがあるにせよ、家と家具による相関関係の中に築かれた空間であるべきだと思います。

ところが、それが簡単では無いのは前述のとおりで、まず、家づくりを先行してしまいます。どうしても、家づくりと家具の選定を同列に考えられない理由として、「家は、一生に一度の買い物」という考え方に對して、家具は後からでも買えるし、買い替えもできるという考え方があっては無いでしょうか？当然、それは間違っている訳ではありませんし、一般的にはそれが正解なのかもしれません。限られた予算の中では、住宅の方に気持ちが入るのも仕方ない事です。

ル・コルビジエが活躍した時代から1世紀の間に、色んな道具が生まれ、便利で快適な生活をおくれるようになりました。

当然、住宅も断熱性に優れた耐震強度も上がり、道具としては極みの域まで差し掛かっているようにも思えます。しかし、得た事ばかりではなく失った事も多くあるはずで。

その一つが、家と家具の相関関係がくずれた事だと思います。この100年の間に、あらゆるデザインの家具が誕生し、選択する自由が生まれました。住宅にとって家具は唯一無二の存在ではなくなったのです。その事があって、家づくりを難しくしている原因となっている気がします。そして、住宅の商品化が進み、ハード面（性能）ばかりがクローズアップされていて、本来、豊かさに直結するはずのソフト面（感覚的な部分）がなごろにされているように思えます。大切なのはハードとソフトのバランスなのに・・・。

家具を状況に応じて買い替える手軽さもいいと思いますが、住宅同様、メンテナンスをしながら一生使っていけるような家具と出会って欲しいと思います。自分にとって唯一無二の椅子やテーブルに出会ってしまったら、そこから家づくりが始まっていく過程も楽しいはずで、それがどれだけの豊かさを与えてくれるのかを知っていただけたらと思います。

たくさんある家具の中から、自分の住まいにどんな家具を選ぶのかを考える時間は、自分の好みと向き合って、どういう事が自分にとって心地良いかを考える時間になるはずで、ソフト面を大切にしながら、ハード面を考えるきっかけになると思います。

「家具から始まる家づくり」は私たちの願望でもあるコンセプトです。是非、内覧会で体感して下さい。